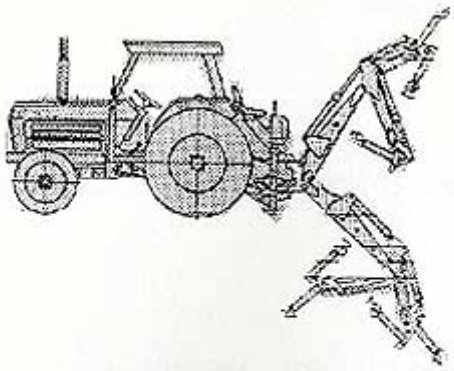
5） バック・ホー

(1) 用　途

主に、地面より低い部分の土の掘削を行うのに使用する。水路の溝掘り、果樹園の施肥用の溝掘りのほか、堆肥の切り返しなどにも使用される。

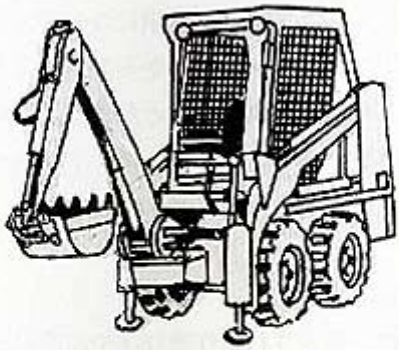


バック・ホー（トラクタ後部装着）

(2) 構　造

バケットを手前に引き寄せながら刃先を上げ、機械の位置より低い地面の掘削を行うのに適したものである。機体を固定させてバケットを手前に引いて作業することからドラッグ・ホーやプル・ホー、また、溝掘りにも用いることからトレンチ・ショベルとも呼ばれる。トラクタ用のほか、パワー・ショベル、スキッド・ステア・ローダ用などのアタッチメント式がある。

トラクタ用は、掘削バケット（ショベル）、アーム、ブームなどより成り、トラクタの３点リンクに装着し、油圧を利用して作業するものである。



バック・ホー（スキッドステア車両）

(3) 取扱い上の留意点

熟練した操作が要求され、作業能率や精度は、オペレータの技能によって左右されるので、運転操作の訓練が必要である。

(4) 安全作業のポイント

① トラクタと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。
② ＰＴＯ軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。
③ 点検・調整・修理は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行う。
④ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。
⑤ 始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。
⑥ 移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。
⑦ アームやバッケットなどで補助作業者を不用意に打たないように注意する。